



日外 勝仁

勤務先：

(株)北海道開発土木研究所
農業開発部地質研究室
〒062-8602 札幌市豊平区
平岸一条3丁目1番34号

TEL 011-841-1775

FAX 011-842-9173

E-mail: k-agui@ceri.go.jp

専門：建設部門

1. あいさつ

この度、数多くの技術士一次試験合格者の中投稿させて頂くことになり、何を書かせて頂けばよいのか大変恐縮しております。一次試験の準備を全くしてこなかった身としてはこれから一次試験合格を目指す方々に何のアドバイスも出来ませんので、諸先輩方にご指導・ご鞭撻して頂く上でも、まずは私の事を知って頂きたく自己紹介をさせていただきます。

2. 自己紹介

まず、苗字ですが、日外と書きまして「あぐい」と読みます。祖先の出自は淡路島らしいのですが、全国でも数十軒しか居ないそうで近い親戚以外には会った事はありません。何処かで「日外（あぐい）」さんに巡り合うことがありましたら、札幌にも一人居ると伝えて下さい（意味は有りませんが）。

私自身は1974年（昭和49年）に神戸で生まれ、中学・高校生活を六甲山の麓の灘で六甲嵐（野球は巨人ファンなので阪神の応援歌は歌いませんが）に吹かれながら過ごしました。灘は日本有数の酒所として有名ですが、六甲山から流れ込むミネラルが豊富な硬水は「宮水」と呼ばれ、一般に硬水で造る酒は、酸が強めでカチツとした辛口に仕上がりと、その味を例えて『男酒』と呼ばれているそうです。とかいう私は全くの下戸であり、お奨めの銘柄の一つも挙げられないことが残念で堪りません。

大学時代は9年間を京都で過ごしました。1回生の時に1995年（平成7年）兵庫県南部地震を体験し、実家の全壊も含めその被害の甚大さは目を覆うものがありました。このような震災に対し自分は何が出来るかを考えさせられた事が、地質工学、防災の分野を専攻する大きな契機となったのだと思います。北海道開発土木研究所にて道路防災に関わるようになって（＝北海道に移って）今年で3年目となりますが、「災害の被害を防ぐ為に何か役立てないか」という思いは今も変わっておりません。

3. 技術士試験と私

技術士試験と自分との関わりについて多少なりとも触れるとすると、大学在学中に技術士補試験を（受験ではなく）申し込んだ事があります。当時の旧試験制度では多肢選択式だけではなく、ごく説明等の記述問題もあり、実務経験の乏しい学生の身には大変悩ましいものであったように覚えております。その上、受験分野も今回の建設部門ではなく資源部門であった為、参考資料が少なく、あっても解答例の付いていない問題集しか見つからず、身近に専門分野の技術士の方も居なかった事もあり、「卒業し実務経験を積んでから受け直そう」と、早々と諦めてしまいました。それから数年、一次・二次試験と制度も変わり、試験形式も択一式のみとなり、改めてチャレンジする事にし、この度何とか合格することが出来ました。

4. 今後に向けて

今回、第一次試験をクリアしたという事で、技術士となる為の第二次試験の受験資格を得たわけですが、今後は専門部門にとらわれることなく、専門的で幅広い知識と見識を持った社会に役立てる技術士を目指し、まずは技術士になる事を目標に日々研鑽を積みしたいと思いますので、今後とも諸先輩方におかれましてはご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。